

BUYING GUIDE

森林クレジットの 購入の ながれ

延岡市では、地域の森林整備によって創出したJ-クレジットやJ-VERを「森林クレジット」としてご案内しています。このクレジットを購入・活用することで、地域の森林を守りながら、企業のカーボンオフセットや環境貢献活動に活かしていただけます。

購入にあたっては、申請や確認事項など一定の準備が必要となります。

ご不明な点がございましたら林務課までお問い合わせください。



〇森林クレジット のべおか

※販売時期・単価・数量・申込方法などの詳細は、右記の二次元コードより公式情報をご確認いただけます。

START

① 募集内容を確認

市のホームページなどで、販売時期・単価・申込方法をご確認ください。

② 申請書類の提出

所定の申込書・必要書類を持参または電子メールのいずれかの方法で市へご提出ください。

③ 決定通知・売買契約

審査後、市より購入決定の通知をお送りします。内容をご確認のうえ、売買契約書を締結させていただきます。

④ 納付書の送付・お支払い

納付書をお送りしますので、指定の口座にお支払いください。

⑤ クレジットの移転（無効化）

入金確認後、クレジットを購入者名義に移転（または無効化）いたします。

⑥ 認定証の発行

購入完了後、認定証を授与いたします。

GOAL

PROFIT USE

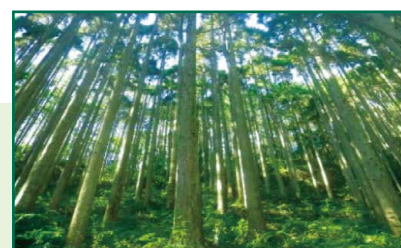
販売利益の 使用用途 について

森林クレジットによる収益は、森林整備（植栽・下刈り・間伐など）、森林の保全・再生などの林業振興を図る事業費に活用されます。これらは、持続可能な森林経営を支える重要な取り組みであり、地域の環境保全や災害リスク軽減に貢献することや、未来の林業担い手の育成につながります。

販売予定のクレジットの 場所の確認ができます。



「延岡市森林環境貢献MAP」で今後販売予定のJ-クレジットの場所が閲覧できます。
<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/39/44059.html>
※詳しくは上の二次元コードを読み取ってください。



延岡市の

J-クレジット

J-VER

「森林クレジット」のご案内

Nobeoka Forest Credit

本資料では森林クレジット制度の仕組みをわかりやすく紹介しています。

お問い合わせ

延岡市農林水産部 林務課

〒882-8686 宮崎県延岡市東本小路2-1
TEL:0982-22-7019 FAX:0982-21-6204
Mail:r inmu@city.nobeoka.miyazaki.jp



ZERO CARBON CITY NOBEOKA



林務課HP

森のチカラを、 これからの企業活動に。

CO₂の削減に取り組む企業の皆様へ。

延岡市では、地域の森林を守り育てながら、

カーボンニュートラルの実現に役立つ仕組みをご用意しています。

環境へのやさしさと地域とのつながり。

どちらも大切にしたい企業の皆様に

森がサポートいたします。

達成できるSDGs目標

13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



CO₂の削減に、 森林を活かすという選択肢があります。

～削減が難しい企業活動でも、環境配慮の“行動”として見える形に～

気候変動対策の必要性が高まる中、
「事業活動にともなうCO₂排出をゼロに近づけたい」とお考えの
企業様も多いことと思います。

しかしながら、製造・物流・サービスなどの特性上、
排出そのものをすぐに減らすことが難しいという現状もあります。

そうした中で注目されているのが、森林のCO₂吸収による
削減効果を“クレジット”として活用する という仕組みです。

森林クレジットとは、

森を育てながら、 CO₂の排出を減らしていく仕組みです。

適切な森林整備・保全により、新たに森林が1年間でCO₂を1トン吸収すると、
その成果が「1t-CO₂(1クレジット)」として国から認証・発行されます。

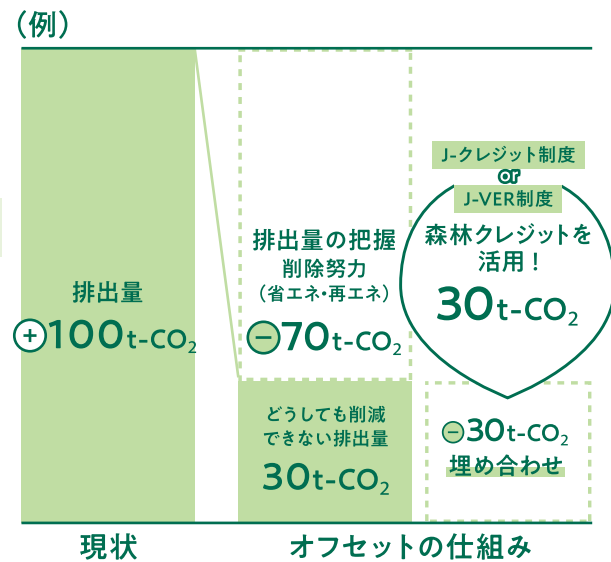
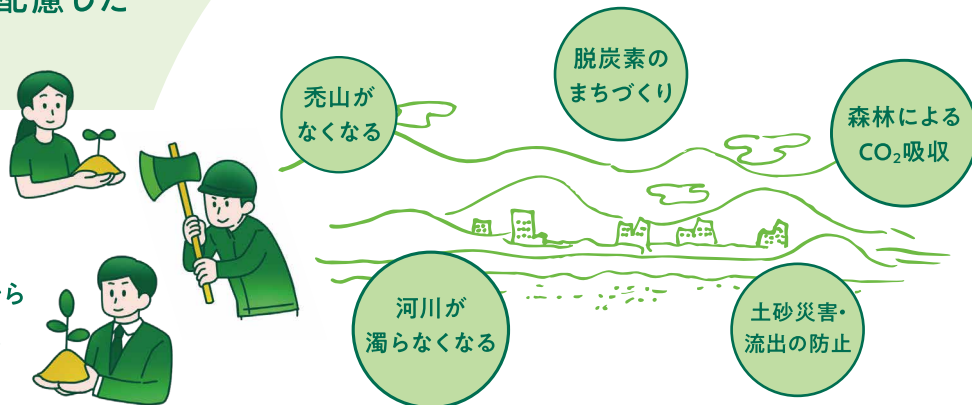
企業様はこのクレジットを購入・活用することで、
自社の排出分の一部を「他の場所で吸収された」とすることができます。

この森林クレジットは、国が認証する制度に基づき、
森林のCO₂吸収量を数値化・可視化したものです。
延岡市では、この制度を活用して地域の森林整備を推進し、市内で生まれた
クレジットを企業活動の脱炭素化に役立てる取り組みを行っています。

森林クレジットの活用は、環境に配慮した 企業姿勢を社会に示す手段にも

環境に対する小さな行動が、
やがて社会を動かす力になる。

森林クレジットの活用は、「配慮している」から
「行動している」企業への、確かな一歩です。



たとえば……

森林が1年間にCO₂を1トン吸収
すると→1t-CO₂(1クレジット)が
発行される！

1クレジット = 1t-CO₂

単位は？

t-CO₂(トン・シーオーツー)
「CO₂を1トン吸収(または削減・
排出した)」という意味の単位です。

t-CO₂ = CO₂の吸収量

適切な森林管理をすることは、
豊かな延岡を守ることに繋がります。

HOW TO USE

森林クレジットの 使い方

森林クレジットは、ただ“買う”だけではもったいない仕組みです。

ESGレポート※1や法令対応の書類に活用できるのはもちろん、商品のパッケージに表示したり、イベント時の
アピールや地域貢献として活用することも。

環境への取り組みを伝える新しい選択肢として、企業、団体、商品、イベントの価値をぐっと高めてくれます。

① 報告に使う



ESGレポート※1や
温対法の提出書類に

環境への取り組みとして、ESGレ
ポート※1や温対法関連の書類に明
記できます。サステナブルな企業
姿勢の“見える化”に役立ちます。

② 商品に使う



オフセット商品で
“環境配慮”が見える化

商品のCO₂排出を森林クレジットで
相殺(オフセット)し、環境配慮型
商品としてPRできます。「森林クレ
ジット活用」と表示すれば、脱炭素
の取り組みが見える化されます。

③ イベントに使う



大会などの
CO₂オフセットに

スポーツ大会や地域イベントなど
で排出されるCO₂を森林クレジット
で相殺(オフセット)して、環境貢
献の取り組みとして発信できます。

④ 地域貢献に使う



地元産のクレジット活用で
地域貢献

延岡市で産まれた森林クレジット
を活用することで、地域や社会へ
の貢献度をより高め、CSR活動※2
としても評価されやすくなります。

BENEFITS

森林クレジットの 企業メリット

「森のチカラ」を活かすことは、企業の環境への姿勢をわかりやすく伝える手段になります。
地域や自然への配慮を“見える化”することで、信頼や共感を得られ、社外へのPRや、社内での意識共有、
持続可能な経営の後押しにもつながります。



取り組みが
“見える化”される

環境への配慮を数値や証明で示
せるため、社内外への説明がしや
すくなります。



地域や環境に
対する信頼が高まる

社会や地域とのつながりが見える
形で示すことで、企業イメージの
向上につながります。



認定証が発行され、社外
にもアピールしやすい

延岡市公認の認定証(森林づくり
への貢献を証明するもの)が発行
されるため、社外へのPRに活用で
きます。



購入費用は
法人税の損金として
計上可能

コストとして処理できるため、CSR
活動※2を無理なく取り入れられます。

脱炭素化のための 3ステップ

脱炭素に向けた取り組みを進めることは企業にとって重要な課題となっています。
脱炭素化の第一歩は、「知る」「測る」「減らす」という3つの行動から始まります。
持続可能な社会の実現に向けて、自社の取り組みを見直してみませんか？

STEP 01 | 知る

脱炭素の重要性や、自社の取り
組み意義を理解する。

STEP 02 | 測る

自社の温室効果ガス排出量を
算出し、現状を把握する。

STEP 03 | 減らす

排出量を削減するため、省エネ・
再エネ・オフセットを実践する。

CO₂ チェックシート

日本商工会議所が無料で提供する、自社のエ
ネルギー使用量やCO₂排出量を簡単に“見える
化”できる「CO₂チェックシート」をぜひご活用
ください。
引用:日本商工会議所HP

カーボンオフセット どうしても減らせないCO₂排出を、他の取り組みで相殺(オフセット)する考え方です。
たとえば、森林整備などCO₂を吸収する活動等によって生まれた「クレジット」を購入し、その分を排出量削減として活用する取り組みです。

カーボンニュートラル 排出したCO₂を、吸収や削減で実質ゼロにする考え方です。
削減努力に加え、どうしても出る分は森林クレジットなどを活用して相殺(オフセット)し、環境への負荷を抑えます。

※1 **ESGレポート** 企業が環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)の3つの側面に関する取り組みをまとめた報告書。
※2 **CSR(企業の社会的責任)** 企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を取り込み、従業員・投資家・地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動を取るとともに説明責任を果たしていくことを求める考え方。